

第8回全国障害者生活支援研究セミナー

支援の新たな方向を探る

～ 障害者自立支援法の『今』から見えてきたもの～

| | |
|--------|--------|
| 開催要項 | P 1- 8 |
| 参加申込案内 | P 9 |
| 参加申込書 | |

日時 : 2007年2月3日(土)～2月4日(日)

会場 : パシフィコ横浜 アネックスホール

神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

主催 : NPO法人 全国障害者生活支援研究会(サポート研)

ホームページ: <http://www.eft.gr.jp/support-k/>

<臨時事務局>

ふきのとう向生舎 担当: 村尾

〒242-0022 神奈川県大和市柳橋5-3-16 電話 046-268-9912～3 FAX 046-267-0454

メール sun2@beach.ocn.ne.jp

第8回全国障害者生活支援研究セミナー開催要項

支援の新たな方向を探る ～障害者自立支援法の『今』から見えてきたもの～

開催要項

本年4月より「障害者自立支援法」が施行され、いよいよ10月から本格実施となりました。しかし制度の見直しや調整が随所で行われ、未だに真の姿が見えず、不安を抱えている当事者、家族、事業者はたくさんいらっしゃると思われます。そして市町村の担当者達もまた、はっきりと決まらないこの法律に振り回されています。

このような状況下で、当事者は果たして地域で「自分らしい暮らし」は実現できるのでしょうか？所得が少ない中で、利用者負担を求められ、それに見合うだけのサービスが得られているのでしょうか？事業者は、この新しいシステムで良質なサービスを提供し続けられるのでしょうか？今まさに障害者福祉のあり方が問われ、制度のあり方が問われています。利用者の主体性を尊重し、自己決定に基づいて自立（自律）した暮らしを地域で続けるための支援のあり方を今一度皆さんと考え、具体的な改善策や方法を提示するべく本セミナーを企画しました。

今までは知的障害者支援の趣が強かった本セミナーの対象を広げ、社会的に多くのサポートを必要とする方々への「支援の新たな方向」を考え、大いに語り合いたいと考えています。多くの方々のご参加をお待ち申し上げます。

主催

NPO法人 全国障害者生活支援研究会（サポート研）

協賛（予定）

日本知的障害者福祉協会 日中活動支援部会

後援（予定）

全国社会福祉協議会心身障害児者団体連絡協議会 / 全国社会福祉協議会全国社会就労センター協議会 / 日本知的障害者福祉協会 / 全日本手をつなぐ育成会 / 全国肢体不自由児・者父母の会連合会 / 全国重症心身障害児（者）を守る会 / 東京都社会福祉協議会 / 東京都障害者通所活動施設職員研修会

参加者

障害者の生活支援にかかわる支援者の方 障害当事者とご家族の方 テーマに関心のある方
（手話通訳など何らかのサポートが必要な方は、申込み先までご連絡ください）

募集定員

480名

| 委員会 | 第1 | 第2 | 第3・6合同 | 第5 | 特別 |
|-----|-----|-----|--------|-----|-----|
| 定員 | 80名 | 80名 | 160名 | 80名 | 80名 |

参加費（参加費・資料代）

【両日とも参加】正会員 10,000円 情報会員 11,000円 その他 12,000円 懇親会費別途 6,000円
【1日のみ参加】正会員 6,000円 情報会員 6,500円 その他 7,000円 懇親会費別途 6,000円

申込締切

2007年1月12日（金）各委員会定員になり次第締め切ります。総定員480名。

申込受付

参加申し込みは別添申込用紙にて、京王観光立川支店まで郵送またはFAXにてご送付下さい。

| | |
|--------------|---|
| 申し込み 問合せ先 | 京王観光 立川支店（担当：大野・田中） 〒190-0012 東京都立川市曙町2-35-2 A-ONEビル10階 TEL 042-525-3991 FAX 042-526-2892 E-mail t.ono@keio-kanko.co.jp |
|--------------|---|

日程・会場・内容

1日目 2007年2月3日(土)

| | | | | | |
|------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 9:30~10:00 | 10:00~10:30 | 10:30~12:15 | 13:30~16:50 | 16:50~17:00 | 18:00~20:00 |
| 受付 | 挨拶・基調報告 | 基調講演 | シンポジウム | お知らせ等 | 懇親会 |
| パシフィコ横浜 アネックスホール | | | | | |

全体会(10:00~17:00)

会場 パシフィコ横浜 アネックスホール
神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1 代表TEL 045-221-2155

開会挨拶・基調報告(10:00~10:30)

「障害者施策の動向と障害者の地域生活支援」
赤塚 光子氏(当会会長、立教大学教授)

基調講演(10:30~12:15)

「障害者自立支援法の『今』と今後の展望」
尾上 浩二氏(DPI日本会議事務局長)

シンポジウム(13:30~16:50)

「私は言いたい『地域で暮らす』は当たり前になったか？」
シンポジスト 加藤 真規子氏(こらえるたいとう代表・東京)
生田 進氏(ピープルファースト大阪・大阪)
山本 創氏(難病をもつ人の自立生活を確立する会・東京)
村山 美和氏(スタジオIL文京・東京)
コメンテーター 尾上 浩二氏(前掲)
コーディネーター 赤平 守氏(当会理事、同愛会・神奈川)

お知らせ等(16:50~17:00)

懇親会(18:00~20:00)

会場 パシフィコ横浜・アネックスホール(予定)

2日目 2007年2月4日(日)

| | | |
|----------------------------|------------|-------------|
| 9:00~9:30 | 9:30~12:00 | 13:00~15:30 |
| 受付 | 分科会 | 分科会 |
| パシフィコ横浜 アネックスホール F201~F206 | | |

分科会(9:30~15:30)

会場 パシフィコ横浜 アネックスホール F201~F206
第1研究委員会 F201
第2研究委員会 F202
第3・6合同研究委員会 F203・F204(午前・合同)/F203・F204(午後・選択)
第5研究委員会 F205
特別研究委員会 F206

内容につきましては、後掲「各研究委員会のテーマ及び要旨」をご覧ください。
分科会は特別研究委員会も含め、どなたでも参加できます。いずれか一つをお選び下さい。
本年度は都合により第4研究委員会(重度重複障害者支援)は開催されません。

ご迷惑をおかけしますがご了承をお願いします。

会場アクセス

最寄り駅から

東急電鉄みなとみらい線 みなとみらい駅より徒歩3分

「クイーンズスクエア連絡口」より、左手奥に進み、赤の長いエスカレーターを利用、そのまま正面のエスカレーターを乗り継ぎ2Fへ、「クイーンズスクエア」を左手にまっすぐ通り抜けます。

JR 桜木町駅より徒歩12分、バスで7分、タクシーで5分

駅改札口より、左手に進み、「動く歩道」を利用、そのままショッピングモール「ランドマークプラザ」、「クイーンズスクエア」をまっすぐ通り抜けます。

市営バス 57、145 系統(4 番のりば)にて「パシフィコ横浜」下車。

横浜駅よりタクシー7分、シーバス(船)で10分

タクシーのりばは東口ボルタ(地下2F)または、YCAT をご利用ください。

シーバスは東口ペイクォーター2階のりばより、「ぷかりさん橋」下船となります。

東京駅より約30分、渋谷より約30分、新宿より約32分:みなとみらい駅へ

東京駅より JR 東海道線を利用、横浜下車し、みなとみらい線に乗り換え

渋谷駅より東急東横線(特急)利用(みなとみらい線へ直通運転)

新宿駅より湘南新宿ラインを利用、横浜下車、みなとみらい線に乗り換え

* JR 京浜東北線、横浜市営地下鉄ご利用の場合は、桜木町駅をご利用ください。

新幹線でお越しのお客様

新横浜駅より電車で13分、車で約30分

JR 横浜線で、菊名下車、東急東横線元町・中華街方面(特急)に乗り換え、みなとみらい駅下車

* 市営地下鉄利用や JR 横浜線を利用し、桜木町駅へアクセスする方法もございます。

飛行機をご利用のお客様

羽田空港より車で約20分、バスで約40分、電車で約30分

YCAT(横浜)行きリムジンバスを利用、みなとみらい線またはタクシーに乗り換え京浜急行(快速特急)逗子方面行き利用、横浜下車
みなとみらい線に乗り換え

会場周辺案内図



セミナー事務局

NPO 法人 全国障害者生活支援研究会事務局 現在移転中のため連絡は下記をお願いします。

< 臨時事務局 >

ふきのとう向生舎 担当：村尾

〒242-0022 神奈川県大和市柳橋 5-3-16 電話 046-268-9912 ~ 3 FAX 046-267-0454

メール sun2@beach.ocn.ne.jp

第1研究委員会 障害者の自立支援

「お仕着せでは駄目だよ、自立支援！」

自立支援法が施行されています。今後のサービスに様々な意見が寄せられています。元来、自立生活支援は時代・地域の福祉サービスの制約を受けてきました。制約の元でも、お仕着せではなく、少しでもご本人らしさを日々の暮らしに生かすことこそ、支援者の役割ではないでしょうか。

支援を受けながら、その人らしく暮らすことが自立支援であるとするならば、ご本人に寄り添い、ご本人の言葉、思いをいかに聴きだせるか、ご本人の自己表現をどう支えるかということが支援者に問われます。支援者自身による「お仕着せ」を防ぐためには、支援者には、ご本人に合うと考えられる暮らし方やそれを支える福祉サービスを、複数提示できる多様な視点が必要です。そして、ご本人の「快」表現を繰り返し確認し、問い直すことが必要と考えます。

さらには、支援者間でどのように共有し、継続できるかと言うことが、支援の重要課題となるでしょう。そのことを、スウェーデンでの体験を踏まえての大滝昌之氏の講演と、身体障害者自立体験ホームや知的障害者ケアホームの支援者と当事者の報告をお聞きしつつ、確認します。

これは、必ずしも、自立支援法とは重なりません。むしろ、現場発の自立支援論として提起します。

以上の視点から第1研究委員会は、従来の研究セミナーに引き続き、「自立」と「自立支援」について検討するために、当事者の方のお話も聴きながら、事例検討、討議を行います。

<スケジュール>

9：30 第1研究委員会の趣旨説明

9：45 講演

大滝 昌之氏（スウェーデン社会福祉研究所・音楽療法士）

12：00 昼食休憩

13：00 パネルディスカッション

A・身体障害者自立体験社会参加促進・世田谷「なかまっち」(東京)職員と当事者

B・翔の会 ケアホーム「ミルク」(神奈川)職員と当事者(予定)

15：30 終了

第2研究委員会 地域生活支援

「もしも 施設が 消えたなら・・・」

施設を前提とした障害者支援からの発想の転換、これが、第2がこのテーマを選んだ理由です。

制度が変わっても、現在の通所施設と入所施設を中心とする知的障害者支援の枠組みそのものは温存されそうです。入所施設を閉鎖したとか、通所施設の建物を壊したとかいう話は今のところ聞きませんし、なんとか現在の建物と人をフルに活用して、より良い支援(良い事業?良い経営?)をするんだ、という知恵比べがどこでも行われているはずで。

しかし、そもそも施設という形態は、当事者である障害者の視点から見たときに、前提とされるべきカタチなのでしょう。施設内で繰り返される多くの虐待事件に象徴される施設の負の側面もたびたび取り上げられるところです。

通所・入所を含めた「施設」という枠組みから少なくとも思考の上で自由になること、イメージの中だけでも施設からはフリーな立場から新しい支援のあり方を柔軟に発想してみることが(そして、それは障害者自身の立場から発想するということにつながるはず、ですが)この何とも言えない、現在の閉塞感を打破するために必要なのではないのでしょうか。

そこで、今回の第2分科会では、通所施設・入所施設を前提としない障害者の地域生活支援はどういったら可能になるのか、噛み砕けば「もしも施設が消えたなら、障害者の暮らしはどうなっていくのか」ということを参加者一人

ひとりに事前にイメージしていただき、当日は参加者の方からの発言を中心に、分科会を進行させていくこととしました。施設職員の方も、そうではない方も、全国の仲間のさまざまな考え方やアイデアに触れ、新たな展望を明るく語る分科会にしていきたいと思っております。ふるってご参加ください。

<スケジュール>

- 9：30 趣旨説明
9：45 講演「(仮題) 障害者が地域で暮らす際に本当に『施設』は必要か」
石渡 和実氏(東洋英和女学院大学)
12：00 昼食休憩
13：00 シンポジウム「もしも施設が消えたなら・・・」
シンポジスト 石渡 和実氏(東洋英和女学院大学)
稲木 俊夫氏(湘南の風・神奈川)
その他交渉中
コーディネーター 赤平 守氏(同愛会・神奈川)
15：30 終了

**第3研究委員会 自己決定
第6研究委員会 ライフサイクル支援
合同開催**

「行動障害を考える～主体性を回復する支援のあり方とは～」

制度が激しく変わりゆく現在、「本人の主体性へ」という支援の視点は今、どうなっているのでしょうか。ここで一度立ち止まり、「現場」に目を向けたいと思っております。そこには「自分らしく生きる」ことの難しい人、あるいは支援者がかかわりに窮する人 行動障害のある人と呼ばれる人 が少なからずいることでしょう。今回は「行動障害」を中心なテーマとして、激しい自傷や他害、衝動的な行動や寡動(といわれる頑なに動かない状態)といった行動に目を向け、その成り立ちや支援のあり方について皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

しかし行動障害を理解するには、その「行動」を取り上げ分析する手法では不十分です。不十分な理解から不適切なかかわり(介入)がなされることで、本人はより深く混迷し行動障害の度合いを強めることもあります。私たちは、第一に本人の主体性に目を向けなければなりません。そして、もう一方の主体性、つまり目の前の本人とかかわり合う中で変化し続ける「自分自身」(支援者自身)にも出会わなくてはなりません。

このように述べると「行動障害のある人への支援は難しいのですね」という声が聞こえてきそうですが、本当にそうでしょうか。あるいは主体性に向けた支援という一見当然のようなこの中身は、まだ議論されていないことなのかもしれません。この機会を通じて、支援の本質に迫りたいと考えています。

<スケジュール>

- 9：30 講演 「主体性を回復する支援とは」
幼児期の行動障害を中心に 岩崎 隆彦氏(淡路こども園・大阪)
成人期の行動障害を中心に 金沢 信一氏(日の出福祉園・東京)
12：00 昼食休憩
13：00 次の二つうちどちらかを選択
A [F203室]
シンポジウム 「障害者自立支援法は本人の自己決定やエンパワーメントを本当に支援するのか」
コーディネーター 加藤 啓一郎氏(生活支援センター風の輪・大阪)
シンポジスト 本人、親、施設職員
内容：障害者自立支援法が自己決定やエンパワーメントに与える、もしくは与えている影響についてそれぞれの立場から話をしていただき、それを元にして全体でディスカッションしたいと思っております。

B [F204 室]

鼎 談 「こんな時、どう考える? 行動障害 Q&A」

話し手 中島 真知子氏 (桜上水福祉園・東京)

今西 篤子氏 (あすなろ作業所・東京)

聞き手 岩崎 隆彦氏 (淡路こども園・大阪)

司会 荒木 大輔氏 (こども発達支援室ウィズ・東京)

内 容: 主体性を支える支援の実際の場面では、対応に迷う場面や葛藤が多くでてくることもまた事実です。しかし迷いや葛藤のない支援はないのもまた事実です。現場の支援者の話と岩崎氏との意見交換を通じて支援の具体的内容に触れていきたいと思ひます。

15:30 終了

第4研究委員会 重度重複障害者援助

本年度は都合により開催いたしません。大変申し訳ございません。ご了承をお願いします。

第5研究委員会 サポートシステム

「どうするもこうするも前に進まないといけないわけで・・・」

「そんなに急いでどこへいく」という感じで本格施行に入った障害者自立支援法ですが、予想通り?! 様々な問題が噴出しています。

今回の研究会は、あらためて自立支援法の課題を整理しつつ、そうはいつても、つっこんでしまった中での支援のありようをさぐりあう機会としたいと思ひます。

新制度への立ち向かい方、すり抜け方、活用の仕方などなどの知恵を提起してもらいながら、参加者がそれぞれの地域での実践に生かせる・少しは元気になって帰れる、そんな時間になればと思ひます。

午前の部は、自立支援法の残された課題と支援の方向をお二人の講師に提起してもらい論議したいと思ひます。

午後の部は、「絶望の淵からはいあがる実践」「どさくさまぎれにやっちゃおう! のすり抜け実践」「とにかくやることやるしかないんだから! の腰据え実践」などなど新制度でできるようになったこと・できなくなったことも含めて各現場から話していただくと思ひます。多くの方の参加をお待ちしています。

<スケジュール>

9:30 開会 総合司会 明石 洋子氏 (あおぞら共生会・神奈川)

講演 「自立支援法の残された課題」

副島 宏克氏 (全日本手をつなぐ育成会副理事長)

講演 「自立支援法下でのあらたな支援の方向をさぐる」

菊地 達美氏 (那須共育学園施設長)

12:00 昼食休憩

13:00 実践報告「自立支援法下でのまっとうな支援をさぐる」

コーディネーター 清水 明彦氏 (のまネット西宮・兵庫)

報告者 中井香代子氏 (ぶなの家・愛知)

藤井 亘 氏 (NPO クローバー・東京)

山本 宏 氏 (デイセンターさくら草・埼玉)

松村 昌子氏 (ワークセンター豊新・大阪)

まとめ 柴田 洋弥氏 (日本知的障害者福祉協会政策委員長)

15:30 終了

特別研究委員会 就労支援

「『障害の重い方』のはたらくを考える」

障害者自立支援法では、「働きたい障害者が働ける社会作り」「就労支援」について掲げられています。そこでサポート研の中では今まであまり語られてこなかった「就労」や「はたらく」ことについて考えてみようということになりました。しかし障害のある方誰もが一般就労できる状況ではありません。就労を支援する仕組みについてだけでなく、もう少し掘り下げて、サポート研が特に支援する必要があると考えている『障害の重い方』『多くのサポートが必要な方』の「就労」や「はたらく」ということについて考えたいと思います。知的障害者、精神障害者、さらに発達障害者や重症心身障害者などさまざまな立場の方々から「はたらくとは何か」ということを学び、その支援のあり方について考えていきます。是非この新しい試みに興味を持たれた多くの方に、ご参加いただきたいと思います。

<スケジュール>

9：30 シンポジウム「障害の重い方の『はたらく』を考える」

雄谷 良成氏（社会福祉法人佛子園・石川）

（知的障害者更生施設・授産施設・グループホームなどを多数運営する法人の若き理事長。地ビール生産や街中の食堂チェーンなどのユニークな展開を行なっている。また障害者の演劇など芸術活動の支援など幅広く活躍中。日本知的障害者福祉協会国際委員長）

三木 良子氏（NPO 法人 MEW・東京）

（精神障害者就労支援センターMEW コーディネーター。アメリカのクラブハウス活動などの実践から、自立を促進しながら就労支援を行なっている。精神保健福祉士）

小規模授産施設職員（交渉中）

12：00 昼食休憩

13：00 引き続き全体討論

指定発言者 重症心身障害者施設職員・発達障害者支援者等を予定

15：30 終了

第8回 全国障害者生活支援研究セミナー

セミナー・懇親会参加及び宿泊申し込みのご案内

会議の参加及び宿泊の申し込みは、京王観光(株)立川支店、が代行させていただきます。
お申し込みは別紙申込書で郵送又はFAXにてお願い致します。

セミナー日程 平成19年2月3日(土)～2月4日(日)

セミナー会場 2月3日(土) パシフィコ横浜 アネックスホール
2月4日(日) パシフィコ横浜 アネックスホール
神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
045-221-2121

参加費 【両日参加】正会員 10,000円 情報会員 11,000円 一般 12,000円
【1日のみ】正会員 6,000円 情報会員 6,500円 一般 7,000円

懇親会 費用 @6,000円 場所：パシフィコ横浜 アネックスホール

その他 遠方からのお越しで宿泊希望の方は宿泊手配を承ります。
平成19年2月2日(金)～2月3日(土)を含む2泊

ご宿泊施設

| | | | | |
|---|---------------------------------|----------|-----------|----------|
| 横浜桜木町ワシントンホテル (JR・市営地下鉄 桜木町駅前) <small>ご宿泊料金(1泊あたり) / 朝食付き・税金サービス料込み セミナー会場(パシフィコ横浜)まで徒歩約10分</small> | 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-67 045-683-3111 | | | |
| | シングル2/2(金) | @11,500円 | ツイン2/2(金) | @8,500円 |
| | シングル2/3(土) | @13,500円 | ツイン2/3(土) | @12,500円 |
| 横浜伊勢佐木町ワシントンホテル (JR・関内駅徒歩約5分) <small>ご宿泊料金(1泊あたり) / 朝食付き・税金サービス料込み</small> | 神奈川県横浜市中区長者町5-53 045-243-7111 | | | |
| | シングル2/2(金) | @10,500円 | ツイン2/2(金) | @7,500円 |
| | シングル2/3(土) | @12,500円 | ツイン2/3(土) | @11,500円 |
| 横浜国際ホテル (JR・東横線 横浜駅西口徒歩約3分) <small>ご宿泊料金(1泊あたり) / 朝食付き・税金サービス料込み</small> | 神奈川県横浜西区南幸2-16-28 045-311-1311 | | | |
| | シングル2/2(金) | @10,500円 | ツイン2/2(金) | @9,500円 |
| | シングル2/3(土) | @10,500円 | ツイン2/3(土) | @9,500円 |

ご宿泊取消料のご案内(宿泊日を基準とします)

| | | | | | | |
|------|---------|---------|---------|---------|-----|------|
| 取消日 | 30～15日前 | 14～08日前 | 07～04日前 | 03～02日前 | 前日 | 当日 |
| 取消料率 | 10% | 15% | 30% | 50% | 80% | 100% |

お申し込み方法

セミナー及び宿泊のお申し込みは、京王観光(株)立川支店にて別紙申込書で郵送又はFAXにて
1月12日(金)までにお申し込みください。参加受付後、参加書類及び費用振込み案内を
1月中旬頃送付させていただきます。

お問い合わせ先

〒190-0012 東京都立川市曙町2-35-2A-ONEビル10階

  京王観光(株)立川支店

TEL 042-525-3991 FAX 042-526-2892 担当：大野・田中

営業時間：月～金曜日 9:00～18:00(土・日・祝日はお休みです)

第8回 全国障害者生活支援研究セミナー申込書

申込日： 年 月 日

お申込締切日：平成19年1月12日（金）必着

ご注意：申込書のコピーをお控えとしてお取下さい。

| | | | | | | |
|---------------------|-----|-----|-------------------|-------------|------------------------|--------|
| 都道府県名 | | 勤務先 | | | | |
| 参加書類等 送付先 | 〒 - | | | | | |
| | | TEL | () | FAX | () | |
| 参加者氏名（ふりがなをふってください） | | 役職 | 区分 | 参加希望日 | 希望分科会 | 懇親会 |
| ふりがな | 男・女 | | 正会員 情報会員 一般 | 2月3日（1日目）のみ | 1・2・5・特 3&6のA・3&6のB | 参加・不参加 |
| | | | | 2月4日（2日目）のみ | | |
| | | | | 両日とも参加 | | |
| ふりがな | 男・女 | | 正会員 情報会員 一般 | 2月3日（1日目）のみ | 1・2・5・特 3&6のA・3&6のB | 参加・不参加 |
| | | | | 2月4日（2日目）のみ | | |
| | | | | 両日とも参加 | | |
| ふりがな | 男・女 | | 正会員 情報会員 一般 | 2月3日（1日目）のみ | 1・2・5・特 3&6のA・3&6のB | 参加・不参加 |
| | | | | 2月4日（2日目）のみ | | |
| | | | | 両日とも参加 | | |

| 宿泊希望 | 宿泊日 | | 希望ホテル | 部屋タイプ |
|------|----------------|-----------------|--------------------|---|
| 有 無 | 2/2(金) (前泊) | 2/3(土) (当日泊) | 第一希望： 第二希望： | 1・シングル 2・ツイン (どちらかに 印をお付け下さい) |

各ホテルの部屋数には限りがございますので、お早めにお申し込み下さい

上記申込書に必要事項をご記入の上、下記あてに郵送又はFAXにてお申し込み下さい。

お申し込み先  京王観光 京王観光(株)立川支店 〒190-0012 東京都立川市曙町2-35-2 A-ONEビル10階

TEL 042-525-3991 FAX 042-526-2892 担当：大野・田中

営業時間：月～金曜日 9：00～18：00（土・日・祝日はお休みです）